

あなたが大切にされる政治を たちばなふみ市議 6月議会一般質問⑥

たちばなふみ市議は、6月議会において①憲法9条を守り生かす政治、②物価高騰から市民の暮らしと営業を守る施策、③子育て世帯の支援、④男女の賃金格差是正、⑤危険性増す原子力発電、の5項目について一般質問しました。②と④の2項目について報告します。

ジェンダー平等の社会へ

男女の賃金格差是正へ公表を

ジェンダー平等に向け最も土台となり、多くの女性から共感の聲が寄せられているのが「男女同一賃金」です。たちばな市議は、厚生労働省の賃金構造基本統計調査によれば日本の女性の賃金は正社員で男性の7割台、非正規を含む年間平均賃金では約240万円の格差があり、暮らしを支えるエッセンシャルワーク、保育や介護などの方の賃金は平均より10万円も少ない現実も放置されていること

は重大だと指摘しました。世界の主要国と比較しても日本の賃金格差は大きく、是正が急がれているとして、女性活躍推進法改正に関して市の姿勢を質しました。

改正に従い今後301人以上の事業者に男女賃金格差を公表する必要があるとして①松江市職員の男女賃金格差の調査結果の公表及び是正策を求める。②松江市では男女共同参画計画等において企業団体にむけて意識づけを行って



本会議場で質問する
たちばなふみ市議

いくとしており、市が出資または委託する団体においても格差の実態把握と是正策の計画等を求めるべき、として市としての見解を求めました。吉田紀子市民部長は、「①市職員の男女賃金格差に係る情報の公表は7月の制度改正で義務化される予定。内容を踏まえて適切に対応する。②設立時に市が2分の1以上出資した団体や公共施設の管理や運営を委託している団体も本市の取り扱いに準じて適切に対応する」と回答しました。

物価高騰から暮らしを守る 保険証取上げ 年金差押やめよ

松江市では、資格証の発行（保険証とりあげ）が昨年10月時点で117件でしたが、令和4年2月には151件に増えています。

たちばな市議は「コロナ禍や物価高騰が市民生活を襲う中、保険料を支払う事のできない人たちがますます医療から遠ざけられる実態は深刻だ」として、取り上げの実態を質

しました。また「介護保険料滞納者に対して年金の差押えが行われている」と指摘しました。

介護保険料は基本的に年金からの天引きが行われています。滞納がおきやすいのは年金から引き去ることのできない無年金または年金額年18万円未満の方です。たちばな市議は、こういった方への差押

えは「命に係わる問題」「滞納が発生した時点で、生活支援などの窓口へつなぐことが必要」と適切な対応をと質しました。

松原正健康福祉部長は「生活実態に応じて納付相談の機会を設けながら原行どおり対応する。差押えも十分調査し本人の同意を得て実施している。納付相談を通じ分割納付の提案、生活保護窓口やくらし相談センターにつながるなど適切に対応している」と答え

ぜひおでかけください 県政・市政報告会

原発問題、統一協会、コロナ対策など
9月議会のご報告を中心に、国政、
県政、市政についてお話しします



10月9日(日)
13:30～

場所: 松江テルサ
大会議室にて

尾村としなり 県議会議員

たちばな ふみ 舟木健治
両松江市議会議員



コロナ禍で疲弊する地域の業者へ支援を 松江民主商工会が申し入れ

9月1日(木)、松江民主商工会(諸遊克巳会長)は、松江市に対し、コロナ禍、物価高騰の折、中小業者の支援を求める要請をしました。

要請内容は、(1)国保加入の自営業者にもコロナ感染による傷病手当金を創設すること、(2)省エネ対策の住宅・店舗リフォーム助成制度を創設すること、の2項目です。

足立徹事務局長は、傷病手当について「事業主はコロナ感染すると仕事ができず収入が途絶える。金銭的な心配をせず安心して休むことができるよう自営業者に収入補償制度を」と訴えました。また「住宅・店舗の断熱化、蓄電池等省エネ設備の導入で燃料・資材の高騰対策となる上、小規模改修であれば地元の業者に仕事が回る」と個人宅の住



保険年金課、環境エネルギー課、商工企画課と
懇談する松江民商の皆さん

余村環境エネルギー部次長は「国や市の補助事業をホームページでわかりやすく紹介する」と回答しました。中小業者に寄り添った施策が求められます。たちばなふみ市議が同席しました。